

四库全书

精编

齐豫生 郭振海 主编
中国文史出版社

櫟初



清 纪晓岚总撰

齐豫生 郭镇海
李自然 杨泰峰
主编

四库全书精编

史部·第五辑

中国文史出版社

史部第五辑之：

《晏子春秋》目录

内篇谏上第一	(3)	内篇杂上第五	(26)
内篇谏下第二	(9)	内篇杂下第六	(33)
内篇问上第三	(15)	外篇第七	(39)
内篇问下第四	(21)	外篇第八	(45)

《吴越春秋》目录

卷一 吴太伯传	(51)	卷六 越王无余外传	(64)
卷二 吴王寿梦传	(51)	卷七 勾践入臣外传	(65)
卷三 王僚使公子光传	(52)	卷八 勾践归国外传	(68)
卷四 阖闾内传	(54)	卷九 勾践阴谋外传	(69)
卷五 夫差内传	(59)	卷十 勾践伐吴外传	(72)

《风俗通义》目录

《风俗通义》序	汉 应劭 (79)	丁氏家穿井得一人	(82)
皇霸第一	(79)	封泰山禅梁父	(82)
三皇	(79)	叶令祠	(83)
五帝	(80)	燕太子丹	(83)
三王	(80)	孝文帝	(84)
五伯	(80)	东方朔	(85)
六国	(80)	淮南王安神仙	(85)
正失第二	(82)	王阳能铸黄金	(85)
乐正后夔一足	(82)	宋均令虎渡江	(85)

彭城相袁元服	(86)	管	(95)
愆礼第三	(86)	瑟	(95)
九江太守武陵陈子威	(86)	磬	(95)
大将军掾臧焯宣度	(86)	钟	(95)
山阳太守汝南薛恭祖	(86)	纸	(96)
弘农太守河内吴匡	(87)	琴	(96)
河南尹太山羊嗣祖	(87)	空侯	(96)
太原郝子廉	(87)	箏	(96)
南阳张伯大	(87)	筑	(96)
公车征士汝南袁夏甫	(88)	缶	(96)
公车征士豫章徐穉子	(88)	笛	(97)
过誉第四	(88)	批把	(97)
长沙太守汝南郅恽	(88)	竽	(97)
司空颍川韩棱	(88)	簧	(97)
太原周党	(89)	龠	(97)
汝南陈茂	(89)	篪	(97)
度辽将军安定皇甫规	(89)	箫	(97)
南阳五世公	(89)	簫	(97)
汝南戴幼起	(90)	菰	(97)
江夏太守河内赵仲让	(90)	距	(97)
十反第五	(91)	旁通第七	(97)
太尉沛国刘矩	(91)	孔子	(98)
阳翟令左冯翊田綰	(91)	孟轲	(98)
太尉掾汝南范滂	(91)	孙况	(98)
巴郡太守太山但望	(91)	虞卿	(98)
高唐令乐安周綰	(92)	孟尝君	(99)
豫章太守汝南封祈	(92)	韩信	(99)
河内太守庐江周景	(92)	韩安国	(99)
河内太守司徒颍川韩演	(92)	李广	(99)
安定太守汝南胡伊	(92)	太尉沛国刘矩	(99)
宗正南阳刘祖	(93)	司徒中山祝恬	(99)
聘士彭城姜肱	(93)	司徒颍川韩演	(100)
赵相汝南李统	(93)	太傅汝南陈蕃	(100)
司徒九江朱伥	(93)	祀典第八	(100)
蜀郡太守颍川刘胜	(94)	先农	(101)
声音第六	(94)	社神	(101)
商	(94)	稷神	(101)
角	(94)	灵星	(101)
宫	(94)	灶神	(101)
徵	(95)	风伯	(101)
羽	(95)	雨师	(101)
埙	(95)	桃梗 苇茨 画虎	(102)
笙	(95)	雄鸡	(102)
鼓	(95)	杀狗 噬邑 四门	(102)

怪神第九	(103)	龍	(107)
世间多有见怪惊怖以自伤者	(103)	京	(107)
世间多有恶梦变难必效	(103)	陵	(107)
城阳景王祠	(103)	丘	(107)
九江浚道有唐居山	(104)	墟	(108)
会稽俗多淫祀	(104)	阜	(108)
鲍君神	(104)	培	(108)
李君神	(104)	藪	(108)
石贤士神	(104)	泽	(108)
世间多有亡人魄持其家语声气,所说良是	(105)	沆	(108)
世间亡者多有见神	(105)	沛	(108)
世间多有狗作变怪	(105)	湖	(108)
世间多有精物妖怪百端	(105)	陂	(108)
世间多有伐木血出以为怪者	(106)	渠	(108)
世间多有蛇作怪者	(106)	沟	(109)
世间人家多有见赤白光为变怪者	(106)	洫	(109)
山泽第十	(106)	《风俗通义》佚文	(109)
五岳	(106)	附录	
四渎	(107)	谢居仁题辞	(134)
林	(107)	李果题辞	(135)
		丁黼跋	(135)
		黄廷鉴跋	(135)
		《四库全书总目·风俗通义提要》	(135)
		校《风俗通义》题序	(136)
		《风俗通义》篇目考	(136)
		范晔《后汉书·应劭传》	(136)

《华阳国志》目录

重刊华阳国志叙	(141)	卷七 刘后主志	(165)
卷一 巴志	(141)	卷八 大同志	(169)
卷二 汉中志	(145)	卷九 李特雄寿势志	(174)
卷三 蜀志	(148)	卷十 先贤士女总赞	(177)
卷四 南中志	(153)	卷十一 后贤志	(191)
卷五 公孙述刘二牧志	(158)	卷十二 序志	(197)
卷六 刘先主志	(161)		

《贞观政要》目录

君道第一.....	(207)	慎所好第二十一.....	(238)
政体第二.....	(208)	慎言语第二十二.....	(239)
任贤第三.....	(210)	杜谗邪第二十三.....	(239)
求谏第四.....	(213)	悔过第二十四.....	(240)
纳谏第五.....	(214)	奢纵第二十五.....	(241)
直谏(附).....	(216)	贪鄙第二十六.....	(241)
君臣鉴戒第六.....	(218)	崇儒学第二十七.....	(242)
择官第七.....	(220)	文史第二十八.....	(243)
封建第八.....	(222)	礼乐第二十九.....	(243)
太子诸王定分第九.....	(224)	务农第三十.....	(245)
尊敬师傅第十.....	(225)	刑法第三十一.....	(246)
教戒太子诸王第十一.....	(226)	赦令第三十二.....	(248)
规谏太子第十二.....	(227)	贡赋第三十三.....	(248)
仁义第十三.....	(230)	辨兴亡第三十四.....	(248)
忠义第十四.....	(230)	征伐第三十五.....	(249)
孝友第十五.....	(232)	安边第三十六.....	(252)
公平第十六.....	(232)	行幸第三十七.....	(253)
诚信第十七.....	(236)	畋猎第三十八.....	(253)
俭约第十八.....	(237)	灾祥第三十九.....	(254)
谦让第十九.....	(238)	慎终第四十.....	(255)
仁恻第二十.....	(238)		

《史通》目录

内 篇

卷 一.....	(261)	列传第六.....	(264)
六家第一.....	(261)	卷 三.....	(265)
卷 二.....	(263)	表历第七.....	(265)
二体第二.....	(263)	书志第八.....	(266)
载言第三.....	(263)	卷 四.....	(268)
本纪第四.....	(264)	论赞第九.....	(268)
世家第五.....	(264)	序例第十.....	(269)
		题目第十一.....	(269)
		断限第十二.....	(270)

编次第十三	(270)	辨职第三十五	(290)
称谓第十四	(271)	自叙第三十六	(291)
卷 五	(272)		
采撰第十五	(272)		
载文第十六	(273)		
补注第十七	(274)		
因习上第十八	(274)		
因习下第十九	(275)		
卷 六	(276)		
言语第二十	(276)		
浮词第二十一	(277)		
叙事第二十二	(277)		
卷 七	(280)		
品藻第二十三	(280)		
直书第二十四	(281)		
曲笔第二十五	(281)		
鉴识第二十六	(282)		
探蹟第二十七	(283)		
卷 八	(284)		
模拟第二十八	(284)		
书事第二十九	(285)		
人物第三十	(286)		
卷 九	(287)		
核才第三十一	(287)		
序传第三十二	(288)		
烦省第三十三	(288)		
卷 十	(289)		
杂述第三十四	(289)		
		外 篇	
		卷十一	(292)
		史官建置第一	(292)
		卷十二	(294)
		古今正史第二	(294)
		卷十三	(299)
		疑古第三	(299)
		惑经第四	(301)
		卷十四	(303)
		申左第五	(303)
		卷十五	(305)
		点烦第六	(305)
		卷十六	(308)
		杂说上第七	(308)
		卷十七	(310)
		杂说中第八	(310)
		卷十八	(312)
		杂说下第九	(312)
		卷十九	(315)
		汉书五行志错误第十	(315)
		五行志杂驳第十一	(318)
		卷二十	(320)
		暗惑第十二	(320)
		忤时第十三	(322)

《大唐西域记》目录

卷一 三十四国……………(327)

阿耆尼国——屈支国——跋祿迦国——
铎赤建国——赭时国——伟捍国——宰
堵利瑟那国——飒秣建国——弭秣贺国
——劫布咄那国——屈霜你迦国——喝
捍国——捕喝国——伐地国——货利习
弥伽国——羯霜那国——咄蜜国——赤
鄂衍那国——忽露摩国——愉漫国——
鞠和衍那国——楼沙国——珂咄罗国

——拘谜陀国——缚伽浪国——乞露悉
浪健国——忽憐国——缚喝国——锐秣
陀国——胡实健国——咄刺健国——揭
职国——梵衍那国——迦毕试国

卷二 三国……………(333)

滥波国——那揭罗曷国——健驮罗国

卷三 八国……………(338)

鸟攸那国——钵露罗国——
咄叉始罗国——僧诃补罗国

——乌剌尸国——迦湿弥罗国——半铎蹉国——曷罗闍补罗国	
卷四 十五国……………	(343)
磤迦国——至那仆底国——闍烂达罗国——屈露多国——设多图卢国——波理夜咄罗国——秣菟罗国——萨他泥湿伐罗国——宰禄勤那国——秣底补罗国——婆罗吸摩补罗国——瞿毗霜那国——随瞿掣咀罗国——毗罗删拿国——劫比他国	
卷五 六国……………	(348)
羯若鞠闍国——阿逾陀国——阿耶穆賁国——钵逻耶伽国——桥赏弥国——鞞索迦国	
卷六 四国……………	(352)
室罗伐悉底国——劫比罗伐宰堵国——蓝摩国——拘尸那揭罗国	
卷七 五国……………	(358)
婆罗提斯国——战主国——吠舍厘国——弗栗恃国——尼波罗国	
卷八 摩揭陀国上……………	(362)
卷九 摩揭陀国下……………	(369)
卷十 十七国……………	(375)
伊烂拿钵伐多国——瞻波国——羯朱敦祇罗国——奔那伐谿那国——迦摩缕波国——三摩吒吒国——耽摩栗底国——羯罗拿苏伐剌那国——乌荼国——恭御陀国——羯敦伽国——桥萨罗国——案达罗国——驮那羯磤迦国——珠利邪国——达罗毗荼国——林罗矩吒国	
卷十一 二十三国……………	(380)
僧伽罗国——恭建那补罗国——摩诃刺佉国——跋祿羯咄婆国——摩腊婆国——阿吒厘国——契吒国——伐腊毗国——阿难陀补罗国——苏剌佉国——瞿折罗国——邬闍衍那国——掷枳陀国——摩醯湿伐罗补罗国——信度国——茂罗三部卢国——钵伐多国——阿点婆翅罗国——狼揭罗国——波刺斯国——臂多势罗国——阿怛荼国——伐剌拿国	
卷十二 二十二国……………	(386)
漕矩吒国——弗栗恃萨儗那国——安吒罗缚国——阔悉多国——活国——普健国——阿利尼国——曷逻胡国——訖栗瑟摩国——钵利曷国——晒摩咀罗国——钵钵创那国——淫薄健国——屈浪拿国——达摩悉铁帝国——尸弃尼国——商弥国——劫盘陀国——乌钵国——赉沙国——斫句迦国——瞿萨旦那国	

《岛夷志略》目录

张 序……………	(397)	宾童龙……………	(399)
吴 序……………	(397)	真 腊……………	(399)
附：《清源续志》序……………	(397)	丹马令……………	(400)
彭 湖……………	(398)	日 丽……………	(400)
琉 球……………	(398)	麻里鲁……………	(400)
三 岛……………	(398)	邇来勿……………	(400)
麻 逸……………	(398)	彭 坑……………	(400)
无枝拔……………	(398)	吉兰丹……………	(400)
龙涎屿……………	(398)	丁家卢……………	(401)
交 趾……………	(399)	戎……………	(401)
占 城……………	(399)	罗 卫……………	(401)
民多朗……………	(399)	罗 斛……………	(401)

东冲古刺.....	(401)	北 溜.....	(408)
苏洛高.....	(401)	下 里.....	(408)
针 路.....	(402)	高郎步.....	(408)
八都马.....	(402)	沙里八丹.....	(408)
淡 邈.....	(402)	金 塔.....	(409)
尖 山.....	(402)	东淡邈.....	(409)
八节那间.....	(402)	大八丹.....	(409)
三佛齐.....	(402)	加里那.....	(409)
嗽 喷.....	(402)	土 塔.....	(409)
悻 泥.....	(403)	第三港.....	(409)
明家罗.....	(403)	华 罗.....	(410)
邈.....	(403)	麻那里.....	(410)
爪 哇.....	(403)	加将门里.....	(410)
重迦罗.....	(403)	波斯离.....	(410)
都督岸.....	(403)	拈吉那.....	(410)
文 诞.....	(404)	千里马.....	(410)
苏 禄.....	(404)	大佛山.....	(410)
龙牙犀角.....	(404)	须文那.....	(411)
苏门傍.....	(404)	万里石塘.....	(411)
旧 港.....	(404)	小嶼喃.....	(411)
龙牙菩提.....	(404)	古里佛.....	(411)
毗舍耶.....	(405)	朋加刺.....	(411)
班 卒.....	(405)	巴南巴西.....	(412)
蒲 奔.....	(405)	放 拜.....	(412)
假里马打.....	(405)	大乌爹.....	(412)
文老古.....	(405)	万年港.....	(412)
龙牙门.....	(405)	马八儿屿.....	(412)
昆 仑.....	(406)	阿思里.....	(412)
灵 山.....	(406)	哩伽塔.....	(412)
东西竺.....	(406)	天 堂.....	(413)
急水湾.....	(406)	天 竺.....	(413)
花 面.....	(406)	层摇罗.....	(413)
淡 洋.....	(406)	马鲁洞.....	(413)
须文答刺.....	(407)	甘埋里.....	(413)
僧加刺.....	(407)	麻呵斯离.....	(413)
勾栏山.....	(407)	罗婆斯.....	(414)
特番里.....	(407)	乌 爹.....	(414)
班达里.....	(407)	异闻类聚.....	(414)
曼陀郎.....	(408)	岛夷志后序.....	(414)
喃哩哩.....	(408)		

《天工开物》目录

序..... (417)

卷 上

乃粒第一卷..... (417)

乃服第二卷..... (420)

彰施第三卷..... (425)

粹精第四卷..... (427)

作咸第五卷..... (427)

甘嗜第六卷..... (428)

卷 中

陶埴第七卷..... (429)

冶铸第八卷..... (431)

舟车第九卷..... (433)

锤锻第十卷..... (435)

燔石第十一卷..... (438)

膏液第十二卷..... (439)

卷 下

杀青第十三卷..... (441)

五金第十四卷..... (443)

佳兵第十五卷..... (447)

丹青第十六卷..... (449)

曲蘖第十七卷..... (450)

珠玉第十八卷..... (451)

晏子春秋

战国·晏婴 著

内篇谏上第一

庄公矜勇力，不顾行义， 晏子谏 第一

庄公奋乎勇力，不顾于行义。勇力之士，无忌于国，贵戚不荐善，逼迹不引过，故晏子见公。

公曰：“古者亦有徒以勇力立于世者乎？”

晏子对曰：“婴闻之，轻死以行礼谓之勇，诛暴不避强谓之力。故勇力之立也，以行其礼义也。汤武用兵而不为逆，并国而不为贪，仁义之理也。诛暴不避强，替罪不避众，勇力之行也。古之为勇力者，行礼义也；今上无仁义之理，下无替罪诛暴之行，而徒以勇力立于世，则诸侯行之以国危，匹夫行之以家残。昔夏之衰也，有推侈、大戏，殷之衰也，有费仲、恶来，足走千里，手裂兕虎，任之以力，凌轹天下，威戮无罪，崇尚勇力，不顾义理，是以桀纣以灭，殷夏以衰。今公自奋乎勇力，不顾于行义，勇力之士，无忌于国，身立威强，行本淫暴，贵戚不荐善，逼迹不引过，反圣王之德，而循灭君之行，用此荐者，婴未闻有也。”

景公饮酒酣， 愿诸大夫无为礼， 晏子谏 第二

景公饮酒酣，曰：“今日愿与诸大夫为乐饮，请无为礼。”

晏子蹇然改容曰：“君之言过矣！群臣固欲君之无礼也。力多足以胜其长，勇多足以弑其君，而礼不使也。禽兽以力为政，强者犯弱，故曰易主；今君去礼，则是禽兽也。群臣以力为政，强者犯弱，而曰易主，君将安立矣！凡人之所以贵于禽兽者，以有礼也；故诗曰：‘人而无礼，胡不遘死！’礼不可无也。”公面而不听。

少间，公出，晏子不起，公人，不起；交举则先饮。公怒，色变，抑手疾视曰：“向者夫子之教寡人

无礼之不可也，寡人出人不起，交举则先饮，礼也？”

晏子避席再拜稽首而请曰：“婴敢与君言而忘之乎？臣以致无礼之实也。君若欲无礼，此是已！”公曰：“若是，孤之罪也。夫子就席，寡人闻命矣。”

觴三行，遂罢酒。盖是后也，飭法修礼以治国政，而百姓肃也。

景公饮酒醒，三日而后发， 晏子谏 第三

景公饮酒，醒，三日而后发。

晏子见曰：“君病酒乎？”公曰：“然。”晏子曰：“古之饮酒也，足以通气合好而已矣。（故男不群乐以妨事，女不群乐以妨功）男女群乐者，周觴五献，过之者诛。君身服之，故外无怨治，内无乱行。今一日饮酒，而三日寝之，国治怨乎外，左右乱乎内。以刑罚自防者，劝乎为非；以赏誉自劝者，惰乎为善；上离德行，民轻赏罚，失所以为国矣。愿君节之也！”

景公饮酒七日， 不纳弦章之言， 晏子谏 第四

景公饮酒，七日七夜不止。

弦章谏曰：“君欲饮酒七日七夜，章愿君废酒也！不然，章赐死。”

晏子入见，公曰：“章谏吾曰：‘愿君之废酒也！不然，章赐死。’如是而听之，则臣为制也；不听，又爱其死。”

晏子曰：“幸矣，章遇君也！令章遇桀纣者，章死久矣！”

于是公遂废酒。

景公饮酒，不恤天灾， 致能歌者，晏子谏 第五

景公之时，霖雨十有七日。公饮酒，日夜相继。晏子请发粟于民，三请，不见许。公命柏遽巡国，致能歌者。晏子闻之，不说，遂分家粟于氓，致任器于

陌，徒行见公曰：“十有七日矣！怀宝乡有数十，饥氓里有数家，百姓老弱，冻寒不得短褐，饥饿不得糟糠，敝撤无走，四顾无告。而君不恤，日夜饮酒，令国致乐不已，马食府粟，狗屠台豢，三保之妾，俱足羹肉。狗马保妾，不已厚乎？民氓百姓，不亦薄乎？故里穷而无告无乐有上矣；饥饿而无告，无乐有君矣。婴奉数之笑，以随百官之吏，民饥饿穷约而无告，使上淫湎失本而不恤，婴之罪大矣。”再拜稽首，请身而去，遂走而出。

公从之，兼于涂而不能逮，令趣驾追晏子，其家不及。粟米尽于氓，任器存于陌，公驱及之康内。公下车从晏子曰：“寡人有罪，夫子倍弃不援，寡人不足以有约也，夫子不顾社稷百姓乎？愿夫子之幸存寡人，寡人请奉齐国之粟米财货，委之百姓，多寡轻重，惟夫子之令。”遂拜于途。

晏子乃返，命禀巡氓，家有布缕之本而绝食者，使有终月之委；绝本之家，使有期年之食，无委积之氓，与之薪糠，使足以毕霖雨。令柏巡氓，家室不能御者，予之金；巡求氓寡用财乏者，死三日而毕，后者若不用令之罪。公出舍，损肉撤酒，马不食府粟，狗不食豢肉，辟拂嫌齐酒徒减赐。三日，吏告毕上；贫氓万七千家，用粟九十七万钟，薪糠万三千乘；怀宝二千七百家，用金三千。公然后就内退食，琴瑟不张，钟鼓不陈。晏子请左右与可令歌舞足以留思虞者退之，辟拂三千，谢于下陈，人待三，士待四，山之关外也。

景公夜听新乐而不朝，

晏子谏 第六

晏子朝，杜刷望羊待于朝。晏子曰：“君奚故不朝？”对曰：“君夜发不可以朝。”晏子曰：“何故？”对曰：“梁丘据肩人歌人虞，变齐音。”

晏子退朝，命宗祝修礼而拘虞，公闻之而怒曰：“何故而拘虞？”晏子曰：“以新乐淫君。”公曰：“诸侯之事，百官之政，寡人愿以请子。酒醴之味，金石之声，愿夫子无与焉。夫乐，何必夫故哉？”对曰：“夫乐亡而礼从之，礼亡而政从之，政亡而国从之。国衰，臣惧君之逆政之行。有歌，紂作北里，幽厉之声，顾夫淫以鄙而僭亡。君奚轻变夫故哉？”公曰：“不幸有社稷之业，不择言而出之，请受命矣。”

景公燕赏无功而罪有司，

晏子谏 第七

景公燕赏于国内，万钟者三，千钟者五，令三出，而职计莫之从。公怒，令免职计，令三出，而士师莫之从。公不说。

晏子见，公谓晏子曰：“寡人闻君国者，爱人则能利之，恶人则能疏之。今寡人爱人不能利，恶人不能疏，失君道矣。”晏子曰：“婴闻之，君正臣从谓之顺，君僻臣从谓之逆。今君赏谗谀之民，而令吏必从，则是使君失其道，臣失其守也。先王之立爱，以劝善也，其立恶，以禁暴也。昔者三代之兴也，利于国者爱之，害于国者恶之，故明所爱而贤良众，明所恶而邪僻灭，是以天下治平，百姓和集。及其衰也，行安简易，身安逸乐，顺于己者爱之，逆于己者恶之，故明所爱而邪僻繁，明所恶而贤良灭，离散百姓，危覆社稷。君上不度圣王之兴，而下不观情君之衰，臣惧君之逆政之行，有司不敢争，以覆社稷，危宗庙。”公曰：“寡人不知也，请从士师之策。”

国内之禄，所收者三也。

景公信用谗佞，赏罚失中，

晏子谏 第八

景公信用谗佞，赏无功，罚不辜。晏子谏曰：“臣闻明君望圣人而信其教，不闻听谗佞以诛赏。今与左右相说颂也，曰：‘比死者勉为乐乎！吾安能为仁而愈黷民耳矣！’故内宠之妾，迫夺于国，外宠之臣，矫夺于鄙，执法之吏，并荷百姓。民愁苦约病，而奸驱允佚，隐情奄恶，蔽谄其上，故虽有至圣大贤，岂能胜若谗哉！是以忠臣之常有灾伤也。臣闻古者之士，可与得之，不可与失之；可与进之，不可与退之。臣请逃之矣。”遂鞭马而出。

公使韩子休追之，曰：“孤不仁，不能顺教，以致此极。夫子休国焉而往，寡人将从而后。”晏子遂鞭马而返。

其仆曰：“向之去何速？今之返又何速？”晏子曰：“非子之所知也，公之言至矣。”

景公爱嬖妾，随其所欲，

晏子谏 第九

翟王子羨臣于景公，以重驾，公观之而不说也。嬖人晏子欲观之，公曰：“及晏子寝病也。”居闾中台上以观之，晏子说之，因为之请曰：“厚禄之！”公许诺。

晏子起病而见公，公曰：“翟王子羨之驾，寡人甚说之，请使之示乎？”晏子曰：“驾御之事，臣无职焉。”公曰：“寡人一乐之，是欲禄之以万钟，其足乎？”对曰：“昔卫士东野之驾也，公说之，晏子不说，公曰不说，遂不观。今翟王子羨之驾也，公不说，晏子说，公因说之；为请，公许之，则是妇人为制也。且不乐治人，而乐治马，不厚禄贤人，而厚禄御夫。昔者先君桓公之地狭于今，修法治，广政教，以霸诸侯。今君，一诸侯无能亲也。岁凶年饥，道途死者相望也。君不此忧耻，而惟图耳目之乐，不修先君之功烈，而惟饰驾御之伎，则公不顾民而忘国甚矣。且诗曰：‘载驰载驱，君子所诫。’夫驾八，固非制也，今又重此，其为非制也，不滋甚乎！且君苟美乐之，国必众为之，田猎则不便，道行致远则不可，然而用马数倍，此非御下之道也。淫于耳目，不当民务，此圣王之所禁也。君苟美乐之，诸侯必或效我，君无厚德善政以被诸侯，而易之以弊，此非所以子民、彰名、致远、亲邻国之道也。且贤良废灭，孤寡不振，而听嬖妾以禄御夫以蓄怨，与民为仇之道也。诗曰：‘哲夫成城，哲妇倾城。’今君不免成城之求，而惟倾城之务，国之亡日至矣。君其图之！”

公曰：“善。”遂不复观，乃罢归翟王子羨，而疏嬖人晏子。

景公敕五子之傅而失言，

晏子谏 第十

景公有男子五人，所使傅之者，皆有车百乘者也。晏子为一焉。

公召其傅曰：“勉之！将以而所傅为子。”

及晏子，晏子辞曰：“君命其臣，据其肩以尽其力，臣敢不勉乎！今有之家，此一国之权臣也，人人

以君命命之曰：‘将以而所傅为子。’此离树别党，倾国之道也，晏不敢受命，愿君图之！”

景公欲废嫡子阳生而立荼，

晏子谏 第十一

淳于人纳女于景公，生孺子荼，景公爱之，诸臣谋欲废公子阳生而立荼，公以告晏子。

晏子曰：“不可。夫以贱匹贵，国之害也；置大立少，乱之本也。夫阳生，生而长，国人戴之，君其勿易！夫服位有等，故贱不陵贵；立子有礼，故孽不乱宗。愿君教荼以礼而勿陷于邪，导之以义而勿湛于利。长少行其道，宗孽得其伦。夫阳生敢勿使荼羹粱肉之味，玩金石之声，而有患乎？废长立少，不可以教下；尊孽卑宗，不可以利所爱。长少无等，宗孽无别，是设贼树奸之本也。君其图之！古之明君，非不知繁乐也，以为乐淫则哀；非不知立爱也，以为义失则忧。是故制乐以节，立子以道。若夫恃谗谀以事君者，不足以责信。今君用谗人之谋，听乱夫之言也，废长立少；臣恐后人将有因君之过以资其邪，废少而立长以成其利者。君其图之！”公不听。

景公没，田氏杀君荼，立阳生；杀阳生，立简公；杀简公而取齐国。

景公病久不愈，

欲诛祝史以谢，

晏子谏 第十二

景公疥且疟，期年不已。召会稽、梁丘据、晏子而问焉，曰：“寡人之病病矣，使史固与祝佗巡山川宗庙，牺牲珪璧，莫不备具，数其常多先君桓公，桓公一则寡人再。病不已，滋甚，予欲杀二子者以说于上帝，其可乎？”

会稽、梁丘据曰：“可。”晏子不对。

公曰：“晏子何如？”晏子曰：“君以祝为有益乎？”

公曰：“然。”“若以为有益，则诅亦有损也。君疏辅而远拂，忠臣拥塞，谏言不出。臣闻之，近臣嘿，远臣暗，众口铄金。今自聊摄以东，姑尤以西者，此其人民众矣，百姓之咎怨诽谤，诅君于上帝者多矣。一国诅，两人祝，虽善祝者不能胜也。且夫祝直言情，则谤吾君也；随匿过，则欺上帝也。上帝神，则不可

欺；上帝不神，祝亦无益。愿君察之也。不然，刑无罪，夏、商所以灭也。”公曰：“善解余惑，加冠！”

命会稽毋治齐国之政，梁丘据毋治宾客之事，兼属之乎晏子。晏子辞，不得命，受相退，把政，改月而君病俊。

公曰：“昔吾先君桓公，以管子为有力，邑狐与谷以供宗庙之鲜，赐其忠臣，则是多忠臣者。子今忠臣也，寡人请赐子州款。”辞曰：“管子有一美，晏不如也；有一恶，晏不忍为也，其宗庙之养鲜也。”终辞而不受。

景公怒封人之祝不逊， 晏子谏 第十三

景公游于麦丘，问其封人曰：“年几何矣？”对曰：“鄙人之年八十五矣。”公曰：“寿哉！子其祝我。”封人曰：“使君之年长于胡，宜国家。”公曰：“善哉！子其复之。”曰：“使君之嗣，寿皆若鄙臣之年。”公曰：“善哉！子其复之。”封人曰：“使君无得罪于民。”公曰：“诚有鄙民得罪于君则可，安有君得罪于民者乎？”

晏子谏曰：“君过矣！彼疏者有罪，威者治之，贱者有罪，贵者治之；君得罪于民，谁将治之？敢问：桀、纣，君诛乎？民诛乎？”

公曰：“寡人固也。”于是赐封人麦丘以为邑。

景公欲使楚巫 致五帝以明德， 晏子谏 第十四

楚巫微导裔款以见景公，侍坐三日，景公说之。

楚巫曰：“公，明神之主，帝王之君也。公即位有七年矣，事未大济者，明神未至也，请致五帝，以明君德。”景公再拜稽首。楚巫曰：“请巡国郊以观帝位。”至于牛山而不敢登，曰：“五帝之位在于国南，请斋而后登之。”公命百官供斋具于楚巫之所，裔款视事。

晏子闻之而见于公曰：“公命楚巫斋牛山乎？”公曰：“然。致五帝以明寡人之德，神将降福于寡人，其有所济乎？”晏子曰：“君之言过矣！古之王者，德厚足以安世，行广足以容众，诸侯戴之，以为君长，百

姓归之，以为父母。是故天地四时和而不失，星辰日月顺而不乱，德厚行广，配天象时，然后为帝王之君，明神之主。古者不慢行而繁祭，不轻身而待巫。今政乱而行僻，而求五帝之明德也？弃贤而用巫，而求帝王之在身也？夫民不苟德，福不苟降，君之帝王，不亦难乎！惜乎！君位之高，所论之卑也。”

公曰：“裔款以楚巫命寡人曰：‘试尝见而观焉。’寡人见而说之，信其道，行其言。今夫子讥之，请逐楚巫而拘裔款。”晏子曰：“楚巫不可出。”公曰：“何故？”对曰：“楚巫出，诸侯必或受之。公信之，以过于内，不知；出以易诸侯于外，不仁。请东楚巫而拘裔款。”公曰：“诺。”

故曰：送楚巫于东，而拘裔款于国也。

景公欲祠灵山、 河伯以祷雨， 晏子谏 第十五

齐大旱逾时，景公召群臣问曰：“天不雨久矣，民且饥色。吾使人卜，云，祟在高山广水。寡人欲少赋敛以祠灵山，可乎？”群臣莫对。

晏子进曰：“不可！祠此无益也。夫灵山固以石为身，以草木为发，天久不雨，发将焦，身将热，彼独不欲雨乎？祠之无益。”

公曰：“不然，吾欲祠河伯，可乎？”

晏子曰：“不可！河伯以水为国，以鱼鳖为民，天久不雨，泉将下，百川竭，国将亡，民将灭矣，彼独不欲雨乎？祠之何益！”

景公曰：“今为之奈何？”

晏子曰：“君诚避宫殿暴露，与灵山河伯共忧，其幸而雨乎！”

于是景公出野居暴露，三日，天果大雨，民尽得种时。景公曰：“善哉！晏子之言，可无用人乎！其维有德。”

景公贪长有国之乐， 晏子谏 第十六

景公将观于淄上，与晏子闲立。公喟然叹曰：“呜呼！使国可长保而传于子孙，岂不乐哉？”

晏子对曰：“婴闻明王不徒立，百姓不虚至。今

君以政乱国，以行弃民久矣，而声欲保之，不亦难乎！婴闻之，能长保国者，能终善者也。诸侯并立，能终善者为长；列士并学，能终善者为师。昔先君桓公，其方任贤而赞德之时，亡国恃以存，危国仰以安，是以民乐其政，而世高其德，行远征暴，劳者不疾，驱海内使朝天子，而诸侯不怨。当是时，盛君之行不能进焉。及其卒而衰，急于德而并于乐，身溺于妇侍而谋因竖刁，是以民苦其政，而世非其行，故身死乎胡宫而不举，虫出而不收。当是时也，桀纣之卒不能恶焉。《诗》曰：‘靡不有初，鲜克有终。’不能终善者，不遂其君。今君临民若寇仇，见善若避热，乱政而危贤，必逆于众，肆欲于民，而诛虐于下，恐及于身。婴之年老，不能待于君使矣，行不能革，则持节以没世耳。”

景公登牛山，悲去国而死， 晏子谏 第十七

景公游于牛山，北临其国城而流涕曰：“若何涕去此而死乎！”

艾孔、梁丘据皆从而泣。晏子独笑于旁，公刷涕而顾晏子曰：“寡人今日游，悲，孔与据皆从寡人而涕泣，子之独笑，何也？”

晏子对曰：“使贤者常守之，则太公、桓公将常守之矣；使勇者常守之，则庄公、灵公将常守之矣。数君将常守之，则吾君安得此位而立焉？以其迭处之，迭去之，至于君也，而独为之流涕，是不仁也。不仁之君见一，谄谀之臣见二，此臣之所以独窃笑也。”

景公游公阜，一日有三过言， 晏子谏 第十八

景公出游于公阜，北面望睹齐国曰：“呜呼！使古而无死，何如？”

晏子曰：“昔者上帝以人之死为善，仁者息焉，不仁者伏焉。若使古而无死，丁公、太公将有齐国，桓、襄、文、武将皆相之，君将戴笠衣褐，执铤耨以蹲行畎亩之中，孰暇患死！”公忿然作色，不说。

无几何而梁丘据御六马而来，公曰：“是谁也？”

晏子曰：“据也。”公曰：“何如？”曰：“大暑而疾驰，甚者马死，薄者马伤，非据孰敢为之！”

公曰：“据与我和者夫！”晏子曰：“此所谓同也。所谓和者，君甘则臣酸，君淡则臣咸。今据也甘君亦甘，所谓同也，安得为和！”公忿然作色，不说。

无几何，日暮，公西面望睹彗星，召伯常骖，使禳去之。晏子曰：“不可！此天教也。日月之气，风雨不时，彗星之出，天为民之乱见之，故诏之妖祥，以戒不敬。今君若设文而受谏，渴圣贤人，虽不去彗，星将自亡。今君嗜酒而并于乐，政不饰而宽于小人，近谗好优，恶文而疏圣贤人，何暇在彗！弗又将见矣。”公忿然作色，不说。

及晏子卒，公出，背而泣曰：“呜呼！昔者从夫子而游公阜，夫子一日而三责我，今谁责寡人哉！”

景公游寒涂，不恤死骸， 晏子谏 第十九

景公出游于寒涂，睹死骸默然不问。晏子谏曰：“昔吾先君桓公出游，睹饥者与之食，睹疾者与之财，使令不劳力，籍敛不费民。先君将游，百姓皆说曰：‘君当幸游吾乡乎！’今君游于寒涂，据四十里之氓，殫财不足以奉敛，尽力不能周役，民氓饥寒冻馁，死骸相望，而君不问，失君道矣。财屈力竭，下无以亲上；骄泰奢侈，上无以亲下。上下交离，君臣无亲，此三代之所以衰也。今君行之，要惧公族之危，以为异姓之福也。”

公曰：“然！”为上而忘下，厚藉敛而忘民，吾罪大矣。”于是敛死骸，发粟于民，据四十里之氓不服政其年，公三月不出游。

景公衣狐白裘不知天寒， 晏子谏 第二十

景公之时，雨雪三日而不霁。公被狐白之裘，坐堂侧陛。晏子入见，立有间，公曰：“怪哉！雨雪三日而天不寒。”晏子对曰：“天不寒乎？”公笑。

晏子曰：“婴闻古之贤君饱而知人之饥，温而知人之寒，逸而知人之劳。今君不知也。”公曰：“善！寡人闻命矣。”